

中学校 第2学年 外国語科 学習指導案

北海道初山別村立初山別中学校
教諭 佐藤孝司

単元名 Lesson 5 How to Celebrate Halloween（7時間）

単元の目標（Goal） 【内容理解】 ハロウィーンなどの、海外の伝統行事に関する情報を理解する。
【活動】 自分がしたいことを実現するために必要な情報を、教えてもらうやり取りができる。

本時（第1時）のめあて 【内容理解】 本文の要点をつかみ、Question の問いに答える。
【活動】 動作の仕方やすべきことを伝える表現の形・意味を理解できる。

指導時期 9月下旬～10月上旬

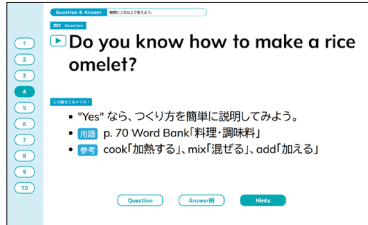
指導者用デジタル教科書（教材）活用の意図・目的

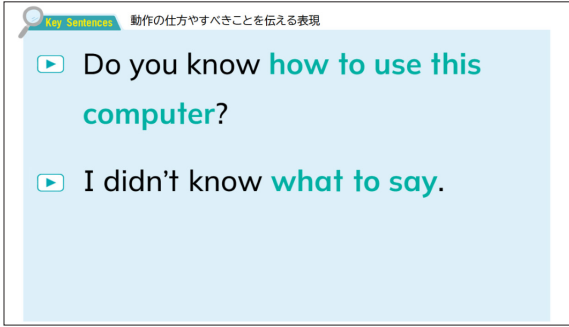
「指導者用デジタル教科書（教材）」は、音声や動画のコンテンツが充実しており、長くなりがちな教師の説明を極力省くことに寄与している。特に、単元全体の概要や、複雑な文法事項を扱う際には、端的にまとめられた動画やアニメーションで、学習者は過不足なく、効率的に概要をつかむことができる。本単元扉の導入動画では、ジャック・オ・ランタンや仮装した子どもたちの映像によって、生徒は瞬時に単元のゴールを見通し、興味・関心を高めることができる。

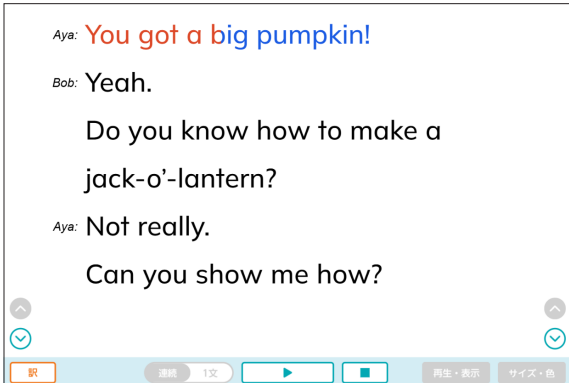
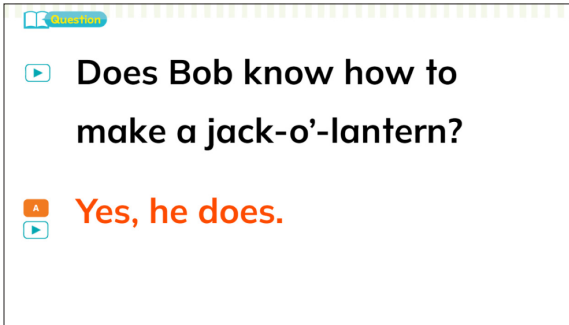
本文の音読練習では、「リーディングコンテンツ」において、視覚的に、かつバリエーションのあるトレーニングが可能となっている。「再生・表示」を「カラオケ表示」に設定すると、発音すべきタイミングで文章中の文字色がトレースされて表示される。どことなく、ゲーム的要素もあり、単にリピートさせていたときよりも、生徒は声を大きく出せるようになる。リピートやポーズ、新出単語ブランクなどの機能を調整しながら、変化を持たせて音読練習をコーディネートできる。

また、新出の言語材料の学習に関しては、反復練習が不可欠であるが、従前、パターンプラクティスでは教師が大量のサンプルを用意すべきだった。「Key Sentences コンテンツ」や「Tool Kit コンテンツ」では、汎用性の高いいくつかの文を、視覚的に、かつスピーディに示すことができる。

本時（第1時）の展開

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入 (12分)	●「指導者用デジタル教科書（教材）」の初期画面を開いてコンテンツを起動する。 1 授業の導入（5分） (1) あいさつ (2) 帯活動 ● Activities Plus 3 (p. 70) で、「Question」を画面で示す。 ● “4. Do you know how to make a rice omelet?” で、ペアワークを行う。「Answer 例」「Hints」を適宜活用する。	● 起動する。  ● Activities Plusを表示。 

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	2単元の題材の導入（7分） (1) 扉ページ（p. 61）の紙面内容の導入 ●「単元導入動画」を視聴する。題材について触れ、話題を深めるためのペアワークを行う。 (2) 単元の Goalの確認 (3) 「本時のめあて」の確認	●単元の概要を共有。 
展開 (35分)	3 Key Sentences（p. 63）（10分） (1) Key Sentencesの紹介 ●「Key Sentencesコンテンツ」を表示し、意味や文の形の確認をする。 (2) Key Sentencesの口頭練習 ●「Key Sentences定着コンテンツ」を表示し、繰り返し声に出して練習をする。 4本文Part1（p. 62）（15分） (1) 「Scene」と「Check」でシチュエーションを共有する。 (2) 「Picture-Story Show」で、音声とピクチャーで会話の内容を予想する。 (3) Words & Phrasesで「フラッシュカード」を表示し、新出語句の確認をする。 (4) 「リーディングコンテンツ」で文章全体の訳を表示し、会話の内容を確認する。	● Key Sentencesを表示。適宜メモを書き込む。  ● Picture-Story Showで内容を予想。  ●フラッシュカードを表示。 

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
展開	5本文の音読練習（10分） (1) コーラル・リーディング ●「リーディングコンテンツ」の機能で一斉に音読練習。（適宜、「カラオケ表示」などに設定を変更する。） (2) ロールプレイング ●「リーディングコンテンツ」でロールプレイによる音読練習。	●音読練習（「カラオケ表示」機能） 
まとめ (3分)	6まとめ・ふり返し（3分） (1) 「本時のめあて」のふり返し (2) 「Question」で英問英答 (3) あいさつ	● Questionによる英問英答で内容をふり返る。 

指導者用デジタル教科書（教材）を活用したことで得られる効果

「指導者用デジタル教科書（教材）」を使用することで、色や音、文字の動き、登場人物たちの息づかいなどを、生徒の視覚と聴覚にダイレクトに訴えることができる。従前、個人的にプレゼンテーションソフトなどで、オリジナルの説明教材を毎時間準備し、使用していた。しかし、「指導者用デジタル教科書（教材）」を活用すれば、準備作業に時間をかけずに、質の高いコンテンツを効果的に生徒に示すことができ、教師は生徒一人一人の表情に気を配りながら、個別最適な生徒への支援に集中することができる。

本単元では、この他に1時間のジャック・オ・ランタンを作るアクティビティを実施する。上記のようにハイ・クオリティな映像や、文字をカラオケ表示などできるコンテンツを効果的に使用しながら、実際のハロウィーン的一端を生徒が肌で感じられるのは、ひとえに「指導者用デジタル教科書（教材）」の活用による点が大い。

今後も、活用することで得られる時間を有効活用し、協働的、個別最適な学習環境を生徒に提供していきたい。